

■参加者から提出された「ディスカッションで話してほしい」気になる話題

○農地や生産緑地の維持

：ディスカッションのテーマに取り上げました

○「まちの全白」を考えている。市の狭い空地の活用について、お考えはあるか。

：ディスカッションのテーマに取り上げました

○民有地の緑化を進めるために市民としてできることやアイデアがあれば教えていただきたい。

：ディスカッションのテーマに取り上げました

○都市緑地について商店街を緑化するにはどういう動き、はたらきかけが必要か（市と商店会と市民の連携）。

○公園で子どもを遊ばせていて、落枝をよく見かける。安心安全な公園のために、高木・老木・健康度の下がっている木の管理を市内全域で実施していくうえで、大切なポイントを教えていただきたい。

○街路樹の剪定管理

○大木シンボルツリー2000計画なるものがあるが、次の樹木の育成を進めず老木伐採をすれば一気に樹木が減るのでは。

○都市緑化による地球への好影響はさまざまかと思うが、武蔵野の状況を鑑みた場合、優先されるべき活動や目的は何か。武蔵野市の緑化における現状から、課題も聞きたい。

○夏、住宅街を歩くと塀や家の外壁ばかりが通路に面している家が多く、暑い。個人宅を生垣にするとどのくらい効果があるのか。歩いている人だけでなく、生垣にした家はどのくらい節電できそうか。

○吉祥寺駅周辺のヒートアイランド現象を緩和するための緑の導入、区域ごとの緑の量の平均化。

○向山さんの話で滋賀大の調査で、生物多様性が重視されていないのが残念だとあった。副市長の話の最後でも生物多様性が入っていなかった。武蔵野市は、生物多様性についてどう向かい合うべきか。

○「武蔵野に来ると緑が多い」と友人に言われる。住んでいると気づかないが、今回の会議で去年取り組んできたことがわかった。

○「武蔵野の雑木林」の言葉のとおり、武蔵野市民において雑木林は貴重な財産だと考える。この雑木林を倒木防止や自然・文化の継承を考え、健康な状態で未来へ繋ぐために、みんなで楽しく取り組むためのアイデアを教えてください。なお、現在小さな取り組みとして、「独歩の森」はナラ枯れで多くのコナラを伐採した跡地に、市民参加でどんぐりまき、実生を含めて多くの市民で世話をしながら、若い雑木林を育てている。

○緑の次世代への継承継続の仕方。

（雑木林の手入れなど）若者に参加してもらうには、我々は何をやれば良いか。

○市民参加で進めていくことが大事との話があった。現在の取り組みの、緑ボランティア団体では、固定化・高齢化の課題を訴える声が例年ある。この制度ができてかなり経ちますが、制度のあり方が古くなっているのではないかと感じるところもある。市民参加の仕組みの新たなアイデア、制度構築をどのように進めていくか、今回の緑の基本計画に期待しています。本日の参加者が比較的若いので、嬉しいです。

○緑地の金銭・経済価値の変換、その周知